

🌸 現代社会学科ラーニング・サポーター 🌸

人間社会研究科 現代社会論専攻 博士課程後期3年 I.M.さん
<p><自己紹介></p> <p>学部、博士課程前期は他大学で学び、博士課程後期から日本女子大学大学院に入学しました。現在、小学校5年生から1歳までの4人の子どもを育てながら、博士論文の提出に向けて研究に取り組んでいます。</p>
<p><専門分野（もしくは得意分野）></p> <p>社会学のなかで、特にフェミニズム・ジェンダー論に軸足を置きながら、環境、ケア、ケアの倫理などをキーワードにして研究を進めています。</p>
<p><助言が可能な領域></p> <p>参考文献の探し方・集め方／データベースの利用方法／勉強の進め方／レジユメの作り方／レポートの書き方／専攻している分野についての助言等</p>
<p><学生さんへのメッセージ></p> <p>私自身、学生という立場なので、お気軽に声をかけていただき、一緒に試行錯誤し、また、必要な支援につなげていきたいと考えています。学修を前に進めるためのきっかけになれるように尽力したいと思います。</p>

🌸 文化学科ラーニング・サポーター 🌸

人間社会研究科 相関文化論専攻 博士課程後期3年 H.H.さん
<p><自己紹介></p> <p>大学院博士課程後期というのは学生さんにはあまり馴染みがないかもしれませんが、いたって普通の学生です。</p> <p>専攻は人類学で、島に住み、島民の生活や観光業のあり方を研究しております。その中で、島の女性たちの労働の変化や意味について研究しています。</p> <p>加えて、民俗学研究として月経の呼称についてアンケート調査もしております。双方とも女性に焦点を当てた研究です。興味御座いましたら是非西生田キャンパス図書館内ラーニング・サポーターまでお越しください。</p> <p>学生さんに寄り添ったサポーターでありたいと考えております。宜しくお願い致します。</p>
<p><専門分野（もしくは得意分野）></p> <p>文化人類学、民俗学、観光学</p>
<p><助言が可能な領域></p> <p>履修の相談／参考文献の探し方・集め方／データベースの利用方法／勉強の進め方／レジユメの作り方／レポートの書き方／プレゼンテーション資料の作り方／大学院進学のための研究計画書の書き方／専攻している分野についての助言／アンケート調査の方法／インタビュー調査の方法／Word、Excel等の使い方等</p>
<p><学生さんへのメッセージ></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大や大学のオンライン講義など、今年度は様々なことが起きました。</p> <p>従来とはコミュニケーションの形も変化しました。</p> <p>そんな現状だからこそ、勉強の仕方、レポートの書き方、図書館の利用方法といったご質問から、漠然とした不安や何となくおしゃべりしたいことまで、ご質問以外も受け付けております。</p> <p>また、西生田キャンパスは今年で学生さんの使用は最後です。少しでも皆さんが西生田との思い出をつくっていただくための架け橋になればいいなと思っております。</p>

<自己紹介>

相関文化論専攻博士課程前期2年のF.S.です。私は大学院で、日本統治期の台湾に長く暮らした日本人画家の研究をしています。いまの趣味は、読書と美術館めぐりです。

私は、二十歳の時に台湾と出会い、それから好きになって台湾という場所に興味を持ちました。その経験は、いまの研究テーマにも通じるのですが、実はさまざまな偶然が重なって現在に至ります。なので、私はどちらかというと「これがしたい」という強い信念を持っていたというよりは、つねに周囲の環境に影響を受けながら、感覚的に選択してきたといえるような気がします。私自身は、明確な夢や目標があって、それに向かって着実に課題をこなしていくというようなタイプではないのですが、でもだからこそ、皆さんの学修面の悩みに共感できることもあるのではないかなとも思っています。ただ相性もあると思うので、もしこんな私でもよければ、ぜひ気軽に相談に来てください。

<専門分野（もしくは得意分野）>

近代日本美術史、近代台湾美術史、植民地研究

<助言が可能な領域>

履修の相談／参考文献の探し方・集め方／データベースの利用方法／勉強の進め方／レジュメの作り方／レポートの書き方／プレゼンテーション資料の作り方／大学院進学のための研究書の書き方／語学（中国語）等

<学生さんへのメッセージ>

はじめまして。現在、このような状況で、将来に対する漠然とした不安を抱えている学生さんがほとんどかと思います。私もそんな一人です。ただでさえ、大学生活は、高校まで知らなかったことを知識としても経験としても得ることができるため、視野や行動範囲が広がるいっぽうで、自分はなにを選択してどこに向かえばいいのだろうと、ずっと悩みの絶えない時期であるように思います。

ただ、私自身の経験で大変恐縮ですが、日本女子大学での学びは、そうした今現在、自分が直面している課題に対して、ヒントとなるようなものが多かったように思います。そして、吸収した知識を自分にどう還元できるか考えること、あるいは、既にある定説を疑い、自分の頭で考えて、自分なりの解釈や意見を生みだし、勇気をもって他者へ発信してみる。大学でできるこのような実践は、私もいま訓練中なのですが、おそらく今後の人生において、どこに行っても重要であると考えています。

なので、私は、皆さんの大学での学びがより有意義なものとなるように、皆さんと大学の授業をつなぐような役割を果たせたらいいなと思っています。ですが、私も皆さんと同じように日々悩みを抱える一学生なので、上からアドバイスを与えるというよりも、一緒に最善の策を考えていくというような、フラットな関係性を築いていけたらいいなと、そのなかで私の経験がなにか役立てば嬉しいなと思っています。よろしくおねがいします。